

# 重要なまちづくりの課題の現状評価シート

|                     |                              |       |
|---------------------|------------------------------|-------|
| 重要なまちづくりの課題(めざすべき姿) | 商工業が発展する活気あるまちである            |       |
| 施策名                 | 商工業の振興と新しい産業の創出により活気あるまちをつくる | No.29 |

|       |         |
|-------|---------|
| 年度    | 平成27年度  |
| 責任部長  | 経済部長    |
| 主担当課長 | 経済振興課長  |
| 関係課   | 産業基盤整備室 |

## 1. まちづくり指標の現状

| まちづくり指標                  | 指標のめざす方向 | 現状値   |       | 実績値   |       |      |      | 目標値   |
|--------------------------|----------|-------|-------|-------|-------|------|------|-------|
|                          |          | H18   | H20   | H21   | H22   | H23  | H24  | 5年後   |
|                          |          | H24   | H25   | H26   | H27   | H28  | H29  | 10年後  |
| 地元商店街で頻繁に買い物をしている人の割合(%) | →        | 61.4  | 61.9  | 64.8  | 58.8  | 63.3 | 62.8 | 65.9  |
|                          |          | 62.8  | 60.8  | 61.0  | 61.7  |      |      | 69.9  |
| 法人数(事業所)                 | →        | -     | -     | -     | -     | -    | -    | -     |
|                          |          | 8,545 | 8,426 | 8,427 | 8,550 |      |      | 9,068 |
| 一宮市内の企業に就職する若者の割合(%)     | →        | 37.5  | 31.7  | 30.8  | 28.0  | 25.4 | 27.0 | 38.7  |
|                          |          | 27.0  | 27.4  | 31.4  | 26.0  |      |      | 40.2  |

## 2. 外的要因(世論、自然環境、社会動向、民間・NPO活動等)

- ・アベノミクス効果により、円高が解消され業績が好調な業種もあるが、急激な円安による原材料の高騰等の影響を受けて伸び悩んでいる業種もある。
- ・2017年4月の消費税増税による景気への影響が懸念されている。
- ・尾張一宮駅前ビルのオープンにより駅周辺に人が集まりやすい環境が整った。
- ・品揃え・駐車場などの点から地元商店街よりも、娯楽を伴う大規模小売店への消費者依存度は高い。
- ・近年の高齢者雇用、定年延長などにより企業の従業員数に占める高齢者の割合が高くなる傾向にある。

## 3. めざすべき姿に対する現状評価(まちづくり指標や外的要因等からの評価)

|      |          |  |
|------|----------|--|
| 現状評価 | <b>B</b> | <p>まちづくり指標は、昨年と比較すると横ばいや悪化の結果となり、目標値とは乖離している状況である。特に「市内企業に就職する若者の割合」については、一昨年並みの割合に悪化した。市内の企業に就職する者はいるものの、やはり名古屋市等市外に就職する者が多いため、この傾向は新たに大きな雇用が生まれる企業が市内にいくつまでできない限り続くものと考えられる。</p> <p>また、「地元商店街で頻繁に買い物している人の割合」については、消費の回復傾向は見られるものの、安価や品揃えに対する関心は依然として高く、大規模小売店へ消費者が流れる状況が続いており、厳しい結果となった。中心市街地では、尾張一宮駅前ビルのオープンによって駅周辺には集客できたものの、その効果が周辺商店街に表れておらず、今後どのようにして回遊させるかが課題である。</p> |
|      | 停滞       |  |

評価がB・Cの場合

## 4. 事務事業群に対する評価(行政活動の評価)

| 長期成果(事業群①)                    | 長期成果(事業群②)                  | 長期成果(事業群④)                  |
|-------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 既存の商工業が活性化する                  | 新しい商工業が創出される                |                             |
| 一宮地場産業ファッションデザインセンター運営負担金交付事業 | 新商品開発・新分野開拓事業者支援事業          | 商工団体等事業費(共同事業・空き店舗活用事業)補助事業 |
| ジャパン・テキスタイル・コンテスト事業           | 商工団体等事業費(共同事業・空き店舗活用事業)補助事業 | 産業基盤整備事業                    |
| 繊維新商品開発補助事業                   |                             | 企業立地促進事業                    |
| 海外貿易見本市参加等補助事業                |                             | SOHOインキュベータオフィス運営事業         |
| FDC尾州モノづくり・プロモーション支援事業        |                             |                             |
| プレミアム商品券発行事業交付金事業             |                             |                             |
| 小規模企業等振興資金融資制度等預託金            |                             |                             |
| 中小企業振興融資信用保証料助成事業             |                             |                             |
| 中小企業振興融資利子補給補助事業              |                             |                             |
| 中小企業相談所補助事業                   |                             |                             |
| ISO取得及び特許・実用新案出願支援事業          |                             |                             |

|          |   |
|----------|---|
| 評価観点     | 1. 長期成果は重要なまちづくりの課題(めざすべき姿)の一手手前の状態となっており、モレなくダブリなく設定されているか。<br>2. 各事業群の事務事業は、長期成果を達成するのに必要十分であるか。  |
| 評価       | 長期成果の設定は、商工業を「既存」と「新規」に分けていてモレもダブリもない。各事務事業は、長期成果を達成するため必要な事業が行われている。商工業の発展・活性化は、外的要因や景気の動向等の影響は大きく、行政活動の充実だけでは達成しがたいものである。市としては、今後も商工業の発展・活気に資する事業を粘り強く継続して実施していきたい。 |
| 次年度の改善計画 | この施策で行われている事務事業は、様々な個人や事業者に対して行われていて内容は充実している。新規や改善、廃止の事業はないが、各事業とも必要な事業であり、今後も継続して実施する。  |

\*\*\*\*\*  
 総合計画推進市民会議による現状評価(※総合計画推進市民会議が発表した「重要なまちづくりの課題(めざすべき姿)の評価書」から転記)

|    |          |  |
|----|----------|--|
| 評価 | <b>C</b> | すべての指標が目標値を到底達成できそうにない。一宮市は働く場所ではなく、ベッドタウン化している傾向が伺える。 |
|    | 悪化傾向     |  |